

令和5年度 台東区地域包括支援センター事業計画書

	センター名	ページ
1	あさくさ地域包括支援センター	1
2	やなか地域包括支援センター	3
3	みのわ地域包括支援センター	5
4	くらまえ地域包括支援センター	7
5	まつがや地域包括支援センター	9
6	たいとう地域包括支援センター	11
7	ほうらい地域包括支援センター	13

令和 5 年度 [あさくさ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	民生委員の改選に伴い、新たに顔の見える関係づくりや協力関係の強化
②	権利擁護業務	高齢者虐待の通報や対応が増えている
③	総合相談支援業務	介護の必要がない元気な高齢者に対する地域包括支援センターの周知不足

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	民生委員との関係構築	計画	1回	民生委員ごとの包括職員の担当を継続し、より相談しやすい体制を作っていく。また、新たに就任する民生委員との連絡会を開催し、地域包括支援センターの周知や関係づくりを図る。
		報告	—	委員ごとの包括職員の担当を継続し、相談等があった際には連携に努めた。広報誌等を訪問により配布する際に、情報交換や関係づくりを図った。
②	高齢者虐待防止の普及啓発	計画	—	直接サービス提供を行う介護サービス事業所に虐待防止のための啓発や周知活動を行い、早期発見・早期対応に繋げていく。
		報告	—	広報誌への掲載、ケアマネジャーの集いにて周知活動を行うことで早期発見・早期対応に努めた。
③	元気な高齢者への地域包括支援センターの普及啓発	計画	—	生涯学習や趣味のグループ等に参加している元気な高齢者に向けて、出前講座や広報誌等で地域包括支援センターの周知を行い、「転ばぬ先の杖」としての相談窓口となるよう働きかけていく。
		報告	—	地域活動体験講座や通いの場、シニアクラブなどでの出前講座を実施した。また、広報紙の配布等により地域包括支援センターの普及啓発を行った。

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2		
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他
1	常	40	○			○				11	○	○	1	常	40	○				○	○			12	○	○	
2	常	40	○			○				10	○	○	2	常	40	○				○		○			11	○	○
3	常	40	○			○	○			7	○	○	3	常	40	○				○	○			8	○	○	
4	常	40		○		○				5	○	○	4	常	40		○			○				6	○	○	
5	常	40	○			○	○	○		15	○	○	5	常	40	○				○	○	○			16	○	○
6	常	40		○	○					6	○	○	6	常	40		○	○						7	○	○	
7	常	40	○							3	○	○	7	常	40	○								4	○	○	
8	非	28				○				4		○	8	非	28					○				5		○	
9													9														
10													10														

その他の資格・・・NO. 8 柔道整復師

その他の資格・・・NO. 8 柔道整復師

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 7,457人 (令和5年1月1日時点) あさくさ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
地域ケア個別会議	計画	2回	←準備・開催						①	←						②		
	報告	2回	←						①	←						②		
見守りネットワーク地区連絡会	計画	2回 参加者 50人 (延べ)	準備	←		①	準備	←		②								
	報告	2回 参加者 102人 (延べ)	←						①	←						②		
広報誌「笑顔の浅草」の発行	計画		←		①							←		②				
	報告	2回	←						①	←						②		
街づくり懇談会	計画	2回 参加者 50人 (延べ)	←						①	←		②						
	報告	2回	←						①	←						②		

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数： 35名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	計画	4回	←		①	←				③						
	報告	5回	①	②	←				③	←						
ケアマネジャーへの支援	計画	-	←													
	報告	-	←													

<認知症総合支援事業> あさくさ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
認知症カフェ (喫茶YOU)	計画	6回 60人 (延べ)	←												
	報告	6回 183人 (延べ)	←												
認知症サポーター養成講座	計画	2回 40人 (延べ)	←						①	←					
	報告	4回 49人	①	←						②	←				
認知症初期集中支援推進事業	計画	1ケース以上	←												
	報告	1ケース (サブ)	←												
介護者サロン (ほのぼのの集い)	計画	12回 60人 (延べ)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
	報告	12回 62人 (延べ)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ずっとび鑑賞会 <<認知症関連事業>>	報告	1回 62名	←											
	報告		←											

※ずっとび鑑賞会
東京都美術館・東京芸術大学・台東病院・あさくさ地域包括支援センター・みのわ地域包括支援センターが合同で開催。
区内の医療・福祉関係者が連携し、主に認知症の方とその家族を対象に美術館でアートを楽しむ参加型のプログラム。

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	民生委員不在の地域や高層マンションの多い地域等で高齢者の見守り機能が低下している
②	権利擁護業務	高齢者虐待の発生が予測されるケースへの早期介入が不十分である
③	総合相談支援業務	災害時活動危険度、火災危険度が高い地域である

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域の高齢者への見守り機能の強化	計画	3店舗 関係機関や地域住民等への広報誌の配布等により地域包括支援センターの役割をわかりやすく周知する。また見守りサポーター養成講座を開催し、圏域型関係協力機関を増やし地域の見守りのネットワークを強化する。
		報告	3店舗 年4回広報紙を配布して地域包括支援センターの周知に努めた。また、見守りサポーター養成講座を開催するとともに、3店舗と新たに圏域型の協定を締結し、地域の見守りネットワークを強化した。
②	虐待被害が疑われる高齢者の早期発見、早期対応	計画	— 8050問題や生活困窮などの課題を抱えている事例について、ケアマネジャーや介護支援事業所、保健所や生活困窮者支援担当等と連携し、ケースカンファレンスの開催などにより虐待が発生する前に後方支援を行うよう努力する。
		報告	— 関係協力機関と連携して虐待発生防止に努めることができた。また、虐待発生リスクの高いケースに対して、早期の介入ができるように毎月職員会議で進捗状況を共有して、虐待の発生防止に努めた。
③	災害への意識と対応力の強化	計画	100戸 簡易型感震ブレーカーや防火防災診断の啓発、防災ブックの配布、家具転倒防止器具の設置等を特に延焼火災の危険性が著しく高い谷中2・3・5丁目の一人暮らし高齢者について民生委員と連携を図り重点的に啓発していく。
		報告	— 家具転倒防止器具の設置等を広報紙で周知した。また、上野消防署と連携して、防火防災診断の同行訪問を7軒実施することができた。

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)						包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)						包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士							介護福祉士	その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員			
1	常	40			○		○	16	○	○	1	常	40			○		○	17	○	○		
2	常	40				○	○	5	○	○	2	常	40				○	○	6	○	○		
3	常	40	○					3	○	○	3	常	40	○					4	○	○		
4	常	40		○	○		○	7	○	○	4	常	40		○	○		○	8	○	○		
5	非	32				○	○	6		○	5	非	32				○	○	7		○		
6											6												
7											7												
8											8												
9											9												
10											10												

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 4,240人 (令和5年1月1日時点) やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
地域ケア 個別会議	計画	2回	←→ ①							←→ ②								
	報告	1回																←→ ①
見守り ネットワーク 地区連絡会	計画		←→ ①							←→ ②								
	報告	2回			←→ ①								←→ ②					
広報誌の発行 ・ホームページの 活用	計画	4回配布 ホームページ	←→ ①	←→ ②						←→ ③								←→ ④
	報告	4回配布	←→ ①							←→ ②								←→ ④
出前講座	計画		←→ 要請に応じて随時対応															
	報告		①															
共催・主催	計画																	
	報告		①															

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 3カ所 介護支援専門員数： 7名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
ケアマネジャー の集い	計画	4回	←→ ①							←→ ③								
	報告	4回																←→ ④
共催・主催	計画																	
	報告				①													②
介護支援専門員 から受けた相談 の整理・分類	計画	年間 通して 検討	←→															
	報告																	

<認知症総合支援事業> やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ (カフェやなか)	計画	6回 60人 (延べ)	①	②	③	④	⑤	⑥	←→ 年間通じて周知							
	共催	6回 95人 (延べ)	①	②	③	④	⑤	⑥	←→							
認知症 サポーター 養成講座	計画	2回 以上	←→ ① 年間通じて周知						←→ ②							
	主催	3回 62人	①										②	③		
認知症初期集中支 援推進事業	計画	1ケース 以上	←→ ①													
	実施		←→ 年間通じて周知													
認知症の 実態把握 ・早期対応	計画	通年	←→													
	実施	通年	←→													

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
	報告																	
	報告																	

令和 5 年度 [みのわ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	自ら相談できず、地域で孤立している高齢者や介護者が増加している。
②	介護予防 ケアマネジメント	交流の場が減少したことで閉じこもりの高齢者が増加した。
③	認知症総合支援事業	認知症当事者、介護者への支援・交流の場が不足している。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域で孤立している高齢者や介護者の早期発見・対応の強化	計画	深刻なケースになる前に訪問等を迅速に行い、継続的な支援をしていく。また広報誌や出前講座、ホームページを活用し周知活動を積極的に行い、相談しやすい環境を整えていく。
		報告	ホームページ、広報誌、ラジオ体操会場、出前講座等で周知活動を行った。マンション管理人や住民、民生委員から情報が入り早い段階で支援ができたケースもあった。
②	地域での集いの場・介護予防の場を増やす	計画	地域住民や関係機関と協働し、介護予防活動や交流の場を提供していく。銭湯の空き時間や包括センターのロビーを活用し来所しやすい環境をつくる。すでにある介護予防教室などの情報提供も強化する。
		報告	交流の場として近隣の高齢者に対し介護予防体操等を実施。そこで地域の介護予防等の情報提供を行った。また、銭湯の空き時間を利用した住民主体で活動するグループ（集いの場）への支援を行った。
③	認知症の方、介護者支援を強化する	計画	喫茶YOU(認知症カフェ)、みのわかカフェ、リフレッシュタイムを定期的に行い認知症の方や家族介護者の相談や交流の場を提供していく。
		報告	顔馴染みの参加者も増え、気軽に楽しく参加できる雰囲気での運営することができた。

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40	○			○			○	8	○	○	1	常	40	○				○			○	9	○	○
2	常	40	○						○	17	○	○	2	常	40	○							○	18	○	○
3	常	40							○	1	○	○	3	常	40								○	2	○	○
4	常	40							○	5	○	○	4	常	40								○	6	○	○
5	常	40			○				○	7	○	○	5	常	40								○	8	○	○
6	常	40	○							7	○	○	6	常	40	○								8	○	○
7	非	32	○							5	○	○	7	非	32	○							○	6	○	○
8													8													
9													9													
10													10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 6,459人 (令和5年1月1日時点) みのわ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域ケア 個別会議	計画	個別課題のケース検討を通して、関係機関と地域課題を検討し、高齢者支援の充実を図る。	① 計画・開催			② 計画・開催						① 評価			②
	報告	①独居の認知症がある高齢者の徘徊の問題について、地域住民、関係機関と検討した。プライバシーの問題もあり情報共有をどこまでおこなうか課題があった。 ②独居で介護拒否の方に対する見守りや緊急時の対応等の支援方法について検討した。	2回		① 開催						② 開催		① 評価		
見守り ネットワーク 地区連絡会	計画	見守りネットワーク関係協力機関と地域の見守りや災害、地域課題等を共有し、顔の見える関係づくりを強化する。	① 計画・開催			② 計画・開催									
	報告	①通いの場づくりを通して住民主体の見守りについて話し合った。 ②介護拒否の高齢者に対する見守りについて、関係機関・地域住民とそれぞれがどのような役割で見守りができるか話し合った。	2回		① 開催									② 開催	
周知活動	計画	広報誌の配布やホームページの更新、ラジオ体操、熱中症予防喚起訪問、出前講座等により地域包括支援センターの周知・啓発活動をおこなう。													
	報告	広報誌を3回作成し民生委員、関係機関、町会関係に配布した。また、出前講座、ラジオ体操会場に向き地域包括支援センターのPRをおこなった。	広報誌配布年3回 ラジオ体操年2回												
地域・場づくり 事業	計画	リフレッシュタイム、みのわ介護予防体操、改築湯での集いの場、大人の元気度チェックを通して介護予防の普及に努める。また新たな場づくりの拡大を図る。													
	報告	近隣の高齢者が気軽に立ち寄り運動ができる場として、リフレッシュタイム・みのわ介護予防体操が徐々に浸透している。また、銭湯を利用した集いの場づくりを住民主体で活動ができるよう支援した。	延べ226名 集いの場支援5回												

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 10カ所 介護支援専門員数： 24名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネジャー の集い	計画	ケアマネジメントに必要な周辺領域の専門職による講義やグループワーク、事例検討を感染予防に留意しながら行う。	①					② 合同		③			④ 合同		
	報告	①社会資源についての講義・グループワーク(社協職員) ②在宅での食の支援(栄養ケアピット管理栄養士)講義、グループワークを実施。 ③④は7包括合同で研修会を開催した。	4回		①					②		③			④
介護支援専門員 から受けた相談 の整理・分類	計画	介護支援専門員から受けた相談内容を整理・分類する方法の検討を7包括の主任介護支援専門員連絡会で行う。													
	報告	7包括主任介護支援専門員連絡会で検討。継続協議となった。													

<認知症総合支援事業> みのわ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ (喫茶YOU)	計画	【台東病院・あさくさ地域包括支援センター】認知症に関する知識や様々な情報提供・啓発や認知症当事者や家族介護者の交流を目的とし、台東病院・あさくさ地域包括支援センターと連携して広く住民にPRを行い住民が気軽に立ち寄れるよう開催する。	6回 60人		①		②		③		④		⑤		⑥	
	報告	講演会や手芸、回想法、ヨガ、VR体験を行い、参加者自身が体験でき楽しみながら相談や情報交換ができる場を提供した。	6回 延べ193人													
認知症カフェ (みのわかフェ)	計画	認知症当事者や家族介護者が気軽に集い、交流・相談できる場を提供する。また、近隣のグループホームや居宅介護支援事業所、通所介護サービス事業所へ協力を仰ぎながら実施する。	4回		①		②		③		④					
	報告	居宅介護支援事業所等へ案内し、手芸や回想法をおこなった。参加者同士で顔馴染みの関係ができ、介護者同士の交流が深まった。	5回 延べ75名		①		②		③		④		⑤			
認知症 サポーター 養成講座	計画	町会や各事業所等へ講座の案内を行い、集合型もしくはオンラインで開催する。	4回													
	報告	法人内の新人職員・グループホーム・実習生に対して、参集型で行った。	3回		①										② ③	
認知症の 普及啓発活動	計画	地域で認知症の方や家族を支えるため、認知症や介護に関する講座を町会や各種団体と連携して開催し普及啓発活動を行う。	2回													
	報告	老人会向けにフレイルや認知症についての出前講座を行った。	3回		① ②		③									
認知症初期集中 支援事業	計画	認知症の疑いのある方に対して訪問等を迅速に行い、医療や介護に繋げる。	1ケース													
	実施	独居の女性が物忘れのため、度々包括センターに不安を訴えるケース。初期集中のメンバーで介入し医療機関、生活保護、介護保険サービスにつなげ生活が安定した。	1ケース													

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
転倒予防・介護 予防普及啓発	併設の三ノ輪福祉センターのロビーで歩行分析アプリを使用し、近隣の高齢者の歩行状態を測定・分析し結果をもとに転倒防止のアドバイスをおこなった。また、他の介護予防事業を案内し介護予防の啓発をおこなった。	47回 延べ229名	 (毎週木曜日開催)											
ずっとび鑑賞会 《認知症関連事業》	東京芸術大学美術館で関係機関と合同開催した。非日常的な空間のためか、認知症の方も生き生きとした表情や会話が飛び出し、参加者の皆さんも大変喜んでいた。	1回 62名											①	

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	支援が必要な方を早期に発見し、適切なサービス等につなげる体制を強化する必要がある。
②	権利擁護業務	独居で身寄りのない高齢者が増加している。
③		

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	介護保険認定申請の後追いと新規相談の経過確認	計画	—	認定結果の確認とサービス利用について意向を確認。相談のみで終了している新規ケースについて、その後の経過を確認。必要なサービス等の提案を継続的に行う。
		報告	—	認定結果後のサービス利用有無や生活状況について電話により確認。状況により訪問し実態把握を行い介護保険制度や社会資源などの情報提供、提案を継続的に行った。
②	成年後見制度など必要な支援が早期に受けられるように支援・提案を行う。	計画	—	緊急連絡先など早期に親族の把握に努め、必要に応じて成年後見制度・地域福祉権利擁護事業利用の提案や勧奨を行う。また、関係機関であるリーガルサポート・社会福祉協議会等とのネットワーク強化を図る。
		報告	—	成年後見制度の利用が適切と思われるケースに対してリーガルサポートとの訪問を重ね、高齢者本人やその家族に利用の必要性や手順など説明し、成年後見制度の利用につなげることができた。
③		計画		
		報告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40	○			○	○		13	○	○	1	常	40	○				○	○		○	○	14	○	○
2	常	40	○			○	○		11	○	○	2	常	40	○				○	○		○	○	12	○	○
3	常	40	○			○	○		7	○	○	3	常	40	○								0	○	○	
4	常	40	○			○			6	○	○	4	常	40	○								7	○	○	
5	常	40			○	○			7	○	○	5	常	40									8	○	○	
6	非	40				○			6		○	6	非	40									7		○	
7												7														
8												8														
9												9														
10												10														

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 7,213人 (令和5年1月1日時点) くらまえ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
地域ケア個別会議	計画 個別ケース（支援困難、複合的課題、地域連携が必要なケース等）を各専門職からの視点で検討を行い、地域課題の抽出につなげていく。	2回			←→① 準備 開催						←→② 準備 開催					
主催	報告 認知症の進行により単身生活が滞り始めているケースについて検討した。本人の希望する「住み慣れた地域での生活」の継続に向けて親族・民生委員・医療・福祉事業者にて情報を共有。介護保険サービス利用につなげることができた。	1回														① 開催
見守りネットワーク地区連絡会	計画 民生委員等の関係協力機関と協力しながら地域を訪問、見守りが必要な対象者の早期発見に努める。配布物を活用し、熱中症予防の周知を強化。連絡会は集合での開催を基本とする。	2回		←→① 準備 開催								←→② 準備 開催				
主催	報告 1回目は、圏域内における防災課題と対策について区 危機・災害対策課へ講話を依頼。またグループワークも行った。2回目は、関係機関からの情報提供を行い、第2部として「独居高齢者の見守りについて」事例検討を行った。	2回				① 開催										② 開催
出張相談（えがおの集い）	計画 老人福祉館で地域の高齢者の生活に役立つ講話と出張相談を実施。必要に応じて介護認定・介護サービス・その他社会資源へのつなぎ・地域包括支援センターの役割を周知していく。	講話年4回。出張相談毎月。	① 開催	←→② 準備 開催	←→③ 準備 開催	←→④ 準備 開催	←→⑤ 準備	出張相談								
主催	報告 月1回、老人福祉会館へ赴き、出張相談を行った。また、包括主催で低栄養や認知症に関する講話を行った（4回）	講話年4回。出張相談毎月。	① 開催		② 開催		③ 開催									④ 開催
広報誌の発行	計画 介護保険・台東区のサービスや健康に関する情報発信を行う。訪問時や出前講座等において、地域包括支援センターの周知にも活用。関係機関や窓口でも配布する。	2回 200部		←→① 準備	① 発行					←→② 準備	② 発行					
主催	報告 地域包括支援センターの役割や生活に役立つ情報を記載し、年2回発行。関係機関や窓口にて配布した。	2回 200部				① 発行										② 発行

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 12カ所 介護支援専門員数： 31名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	計画 介護支援専門員のスキルアップを図るため、事例検討会・各種研修会を開催する。また、専門職との相互理解や連携を強化するための研修会を開催する。（2回は7包括共催とする。）	4回	←→① 7包括合同	←→② 7包括合同					←→③ 7包括合同	←→④ 7包括合同						
主催・共催	報告 ひきこもりの家族がいる高齢者の事例検討、高齢者のペット問題、成年後見人（司法書士）との事例検討、公証人による任意後見制度等の研修会を開催し介護支援専門員のスキルアップを図った。	4回			① 合同										③ 合同	
介護支援専門員から受けた相談の整理・分類	計画 介護支援専門員から受けた相談内容を整理・分類する方法を7包括の主任介護支援専門員連絡会で検討する。	通年	←→													
共催	報告 介護支援専門員から受けた相談内容の整理・分類する方法を検討した。今後は、各包括の判断で実施していくこととなった。	通年	←→													

<認知症総合支援事業> くらまえ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ（くらまえカフェ）	計画 東京トータルライフクリニックと共催。奇数月に開催予定。開催回数については状況に合わせて変更。募集方法や実施内容、人数の再検討も行ない、充実した集いにしていく。	6回（約70人）	準備	① 準備	② 準備	③ 準備	④ 準備	⑤ 準備	⑥ 準備							
共催	報告 コロナが5類に移行し、従来通り、毎月実施とした。内容も、講義形式から、手工芸や身体を動かす活動なども取り入れ、なごやかな雰囲気を取り戻し、実施することができた。	12回 186名	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		
認知症啓発活動	計画 地域住民・企業・学校等に対し、認知症サポーター養成講座を開催する。地域住民の認知症に対する理解を深めるため、シニアクラブや町会、老人福祉館での集い等を活用し、認知症講座（出前講座）や相談会等を企画・実施していく。	3回	←→ 地域への働きかけ（通年）													
主催	報告 住民向けの講座を区役所で1回実施。金融機関（信用金庫）での講座を1回実施した。また、三筋老人福祉館では、出前講座で、認知症の予防についての講座を実施した。	3回 66名				①										② 出前講座 ③
認知症高齢者の早期発見・早期対応	計画 認知症高齢者の早期発見のため、地域住民・民生委員・町会・シニアクラブ・集合住宅の管理人・関係機関等と連携し、認知症の疑いがある高齢者の実態把握に努める。また必要に応じ個別支援を開始する。	通年	←→													
主催	報告 認知症サポーター養成講座や出前講座、見守りネットワーク会議、くらまえカフェを始めとする地域・民生委員等との連携や日常的な交流を通じて、情報交換・実態把握を行い、早期発見・早期対応に繋げることができた。	通年	←→													
認知症初期集中支援推進事業	計画 相談や実態把握を行う中で、事業の対象と思われるケースについて早期発見・早期対応ができるように支援を行う。対象者の把握から、初期集中支援の実施を通して、各機関との連携を通じ、適切な支援に早期に繋げていく。	1ケース以上	←→													
実施	報告 支援が必要なケースに対して、初期集中支援チームで連携して対応し、介護保険申請や医療受診に繋げることができた。適切な支援を通じ、本人の生活実態の把握や家族の介護負担の軽減に繋げることができた。	1ケース	←→													

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
オンラインによるふれあい介護予防教室	報告 オンラインによるふれあい介護予防教室（転倒予防体操）をくらまえ地域包括支援センターの会議室で開催した。運動を始めてみたい方、他の会場に行けない方などに声をかけ、少人数で実施した。	10回 33人	①	②	③				④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	
出前講座	報告 自主グループ（ぼっちの会）で出前講座を実施した。地域包括支援センターの案内や台東区高齢福祉サービス・認知症の予防について話をした。	1回											①			

令和 5 年度 [まつがや] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	相談件数が増加し、内容も複雑化している。チームケアを強化し多面的に対応する必要がある。
②	認知症総合支援事業	認知症の方やそのご家族が定期的に相談できる小規模の場やひと息つける場が少ない。
③		

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	見守りネットワーク機関との継続的な協力体制の強化を図る。	計画	—	8050問題等家族・介護者支援のサポートを含め包括職員での複数対応や見守りネットワーク関係機関と経過を追った情報共有を行う。
		報告	—	8050問題、家族支援等は多面的に対応できるよう複数の包括職員での対応や、各関係機関との情報共有等の連携を強化した。
②	認知症の方、その家族が気軽につどえる環境をつくる。	計画	3回	既存のサロン活動の中に、認知症に関する情報提供等を加え、認知症の方、家族、興味のある方誰でも気軽に参加できほっとひと息できる環境を整える。
		報告	7回	認知症に関する情報提供等を行い、認知症の方、家族、興味のある方誰でも気軽に参加できほっとひと息できるサロンを開催した。
③		計画		
		報告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40	○			○	○			10	○	○	1	常	40	○				○	○			11	○	○
2	常	40	○		○		○			14	○	○	2	常	40	○		○						15	○	○
3	常	40	○				○	○	○	7	○	○	3	常	40	○					○	○		8	○	○
4	常	40		○	○					16	○	○	4	常	40						○	○	○	14	○	○
5	常	40					○		○	13	○	○	5	常	40						○	○		3	○	○
6	常	40				○	○		○	2	○	○	6	非	32						○	○		11	○	○
7	非	32					○		○	10	○	○	7	非	32	○						○	○	3	○	○
8	非	32	○				○		○	2	○	○	8													
9													9													
10													10													

その他の資格・・・ 4助産師5幼稚園教諭6米養士

その他の資格・・・ 4幼稚園教諭5米養士

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 8,085人 (令和5年1月1日時点) まつがや 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	計画	2回	←→ ①			←→ ②								
	報告	2回	←→ ①			←→ ②								
見守りネットワーク地区連絡会	計画	2回	←→ ①			←→ ②								
	報告	2回	←→ ①			←→ ②								
出張相談・出前講座	計画	6回	①	←→ ②	←→ ③	←→ ④	←→ ⑤	←→ ⑥						
	報告	8回	①	←→ ②	←→ ③	←→ ④	←→ ⑤	←→ ⑥	←→ ⑦	←→ ⑧				
ほっとルーム(サロン)	計画	5回	←→ ①	←→ ②	←→ ③	←→ ④	←→ ⑤							
	報告	7回	①	←→ ②	←→ ③	←→ ④	←→ ⑤	←→ ⑥	←→ ⑦					

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 13カ所 介護支援専門員数： 42名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネジャーの集い	計画	4回	←→	←→ ②			←→ ④								
	報告	4回	←→	←→ ②			←→ ④								
ケアマネジャーから受けた相談の分類	計画	通年	←→												
	報告	通年	←→												

<認知症総合支援事業> まつがや 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症カフェ(オレンジカフェ)	計画	6回	←→ ①	←→ ②	←→ ③	←→ ④	←→ ⑤	←→ ⑥						
	報告	6回	←→ ①	←→ ②	←→ ③	←→ ④	←→ ⑤	←→ ⑥						
認知症サポーター養成講座(認知症の理解の普及啓発)	計画	4回	①	←→ ②	←→ ③	←→ ④								
	報告	4回	①	←→ ②	←→ ③	←→ ④								
ほっとルーム(認知症サロン)	計画	3回	←→ ①			←→ ②			←→ ③					
	報告	7回	①	←→ ②	←→ ③	←→ ④	←→ ⑤	←→ ⑥	←→ ⑦					
認知症初期集中支援推進事業	計画	1事例以上	←→											
	報告													

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
報告														
報告														

令和 5 年度 [たいとう] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 聖風会 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	高齢者の身近な相談窓口であることが十分に周知されていない状況。
② 在宅医療・介護連携推進事業	ケアマネジャー等のアンケート結果で、多職種連携強化を希望する意見があり、多職種連携をテーマに研修・懇談会を開催していく。
③ 権利擁護業務	成年後見制度の利用促進にあたり、受任可能な専門職団体等との連携が図れていない。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域包括支援センターの周知	計画	広報誌 2回 出前講座 2回	地域住民、関係団体へ広報誌の発行および出前講座を行い、周知に努める。町会の会議等に参加し、普及活動に力を入れたい。
		報告	広報誌 2回 出前講座 2回	広報誌を年2回（各500部）、地域住民、見守り協力機関、民生委員さんへ配布することができた。出前講座については年5回（笑顔の集い・通い場）開催することができた。
②	事業所間で顔の見える関係性を構築・強化していく。	計画	懇談会等 2回	ケアマネジャーの集いや包括主催の多職種懇談会を開催し、各事業所のエリア内で顔の見える関係性を強化していく。今年度は医療職との連携を強化した取り組み（懇談会等）を実施していく。
		報告	懇談会等 4回	薬剤師と在宅支援（居宅療養管理指導）について、年2回ほどケアマネジャーの集いで協議することができた。また、見守り地区連絡会では年2回、事例検討会を開催し検討メンバーに薬剤師の方に入っていた。
③	成年後見制度の利用促進	計画	-	成年後見人等、候補者を推薦できる団体との連携・ネットワークを構築する。ケースの解決すべき課題ごとに依頼する専門職を区と地域包括支援センター内で検討する。
		報告	-	区の弁護士相談を活用し課題を整理することはできたが、本人の拒否により専門職までつながらないケースが多く見られた。

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2				
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他		
1	常	40	○				○					14	○	○	1	常	40	○					○				15	○	○
2	常	40	○				○		○	○		11	○	○	2	常	40	○					○	○	○		12	○	○
3	常	40	○				○	○	○			6	○	○	3	常	40	○					○	○			7	○	○
4	常	40	○				○	○				6	○	○	4	常	40					○					4	○	○
5	常	40				○						3	○	○	5	常	40					○		○	○		8	○	○
6	常	40					○		○	○		7	○	○	6	常	40		○								2	○	○
7	常	40										1	○	○	7														
8															8														
9															9														
10															10														

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 5,567人 (令和5年1月1日時点) たいとう 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
地域ケア 個別会議	計画	1回							①							
	報告	0回													①	
見守り ネットワーク 地区連絡会	計画	2回	①			①									②	
	報告	2回		①				①							②	
広報誌の発行	計画	2回	①												②	
	報告	2回		①											②	
ケアマネジャー の集い	計画	1回														
	報告	0回														

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 8カ所 介護支援専門員数： 20名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャー の集い	計画				①										③	
	報告				①準備・開催				②準備・開催						③準備・開催	
地域との連携	計画															
	報告															

<認知症総合支援事業> たいとう 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ (オレンジカフェ)	計画	6回	①	②	③	④	⑤	⑥								
	報告	6回	①開催	②開催	③開催	④開催	⑤開催	⑥開催								
認知症 サポーター 養成講座	計画	2回以上	→													
	報告	3回	①開催					②開催							③開催	
初期集中支援 チーム参画	計画	1事例														
	実施	1事例			①											
計画外の取組	計画															
	報告															

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
報告																
報告																

※とびらプロジェクト
東京都美術館と東京藝術大学が、美術館を拠点にアートを介してコミュニティを育むことを目的として2012年から行っている活動。

令和 5 年度 [ほうらい] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 清峰会 】

◇今年度の重点課題

①	生活支援体制整備事業	地域住民主体による通いの場が立ち上がっていない。
②	総合相談支援業務	要支援・要介護認定が出ているが、サービスにつながない人の把握ができていない。
③		

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標		数値	目標に向けた具体的な取組
①	通いの場を立ち上げる	計画	1	高齢福祉課、東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター、生活支援コーディネーターや地域住民と協力し、地域の特性を活かした通いの場を立ち上げる。
		報告	2	銭湯や都営アパートの集会室での集まりを主体的に活動できる住民と一緒に運営支援ができた。
②	包括で介護保険申請をした人に連絡をとり、サービス利用の有無を確認する。	計画	-	職員間で記録を確認し、支援につながない人を把握し継続的に支援する。
		報告	-	包括の記録や高齢福祉課からの情報を元に、介護保険を申請した方のサービス意向の有無を確認することができた。
③		計画		
		報告		

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和4年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和5年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2		
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士	その他
1	常	40	○							10	○	○	1	常	40	○								11	○	○	
2	常	40	○			○		○	○	9	○	○	2	常	40	○				○	○	○			10	○	○
3	常	40			○					9	○	○	3	常	40	○						○			5	○	○
4	常	40	○					○		4	○	○	4	常	40		○	○		○					6	○	○
5	常	40		○	○		○			5	○	○	5	常	40					○		○			1	○	○
6													6														
7													7														
8													8														
9													9														
10													10														

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 6,038人 (令和5年1月1日時点) ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
地域ケア個別会議	計画	2回	←→ ①				←→ ②								
	報告	2回					←→ ①		←→ ②						
見守りネットワーク地区連絡会	計画	2回 参加者 50人 (延べ)	←→ ①				←→ ②								
	報告	2回 参加者 67人 (延べ)			←→ ①		←→ ②								
通いの場を立ち上げる	計画	1か所	←→ 随時												
	報告	12回	←→ 毎月												
認知症の人の社会参加支援	計画	1回 参加者 10名			←→ 実施										
	報告	1回 参加者 10名			←→ 実施										

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 3カ所 介護支援専門員数： 6名 (令和5年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネジャーの集い	計画	参加者 2回 (延べ 40人) 共催 2回 (延べ 90人)	←→ ①				←→ ③								
	報告	延べ 142人	←→ ②		←→ ④										
地域連携を勧める会	計画	6回	←→ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥												
	報告	6回	←→ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥												

<認知症総合支援事業> ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
認知症カフェ (あさがおカフェ)	計画	6回 参加者 60名 (延べ)	←→ ①		←→ ②		←→ ③		←→ ④		←→ ⑤		←→ ⑥		
	報告	7回 参加者 約81名 (延べ)	←→ ①		←→ ②		←→ ③		←→ ④		←→ ⑤		←→ ⑥		
認知症の普及啓発活動 (認知症サポーター養成講座)	計画	4回 参加者 60名 (延べ)	←→ ①		←→ ②		←→ ③		←→ ④						
	報告	3回 参加者 20名 (延べ)			←→ ①		←→ ②				←→ ③				
認知症初期集中支援チーム	計画	1ケース以上	←→ ①												
	報告	2ケース (サブ)	←→ ①		←→ ②										
認知症家族介護者教室	計画	2回 参加者 12名 (延べ)	←→ ①		←→ 勉強会		←→ ②								
	報告	1回 参加者 6名	←→ ①		←→ 勉強会		中止								

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量 など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
報告															
報告															